

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(1) 個性と魅力を活かすまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区の特徴・魅力として思い浮かぶものとしては、山崎川沿いに続く桜並木がまず挙げられるのではないのでしょうか。瑞穂区のシンボルマークも山崎川と花びらをアレンジしたもので、区の木、区の花もサクラであり、サクラは瑞穂区の魅力として、区民に馴染み深いものです。

そして、区内にはパロマ瑞穂スポーツパーク（瑞穂運動場）があり、さまざまなスポーツ大会の会場、また名古屋グランパスの本拠地、市のスポーツの拠点として、選手や観客が数多く訪れる場所があるのも魅力のひとつです。

さらに、教育施設が多いことが特徴として挙げられます。市内16区で比較すると、瑞穂区内に高校は7校、短大は2校、大学は3校あり、いずれも16区で3番目以内に入る数です。

こうした瑞穂区の魅力や特徴をふまえ、区内に本拠地を置くトップスポーツチームや教育施設と連携し、魅力がよりいっそう輝くまちづくりをすすめる必要があります。

一方、区内には大曲輪貝塚などの遺跡もあり、瑞穂区は太古の昔から人が生活する場所でした。また寺社などの史跡も数多く残されており、明治時代以降からは、区の西部を中心に工場がつくられ、そこで働く人々がその周辺に居住し、西から東へと開発がすすみ、現在の瑞穂区がつくられていきました。こうした瑞穂区の歴史を地域への愛着を深めるため、区の魅力として発信していく必要があります。



【さくらまっぷ】

指標

事 項	29 年度	30 年度 (目標)
区民アンケート 「瑞穂区が魅力的なまちだと思う人 (※)」の割合	89.6 %	90 % 以上
地元の魅力発見！子どもお仕事体験参加者アンケート 「瑞穂区の新たな魅力を知ることができたと感じた人」の割合	95.0 %	90 % 以上

※ 「思う」「まあまあ思う」と回答した方

主な取り組み

- ・サクラのまち瑞穂づくり（さくら写真展、さくらスイーツの活用、山崎川のライトアップ、サクラ情報の区ホームページでの発信など）（地域力推進室・土木事務所）
- 「瑞穂のさくら写真展」の開催、さくらマップの配布、さくらにちなんだスイーツ等を紹介するパンフレットの作成などの取り組みにより、瑞穂区の区の木、区の花であるサクラを通じて瑞穂区の魅力を発信します。また、サクラ情報をツイッターやフェイスブックでお伝えするほか、山崎川の夜桜を楽しんでいただけるよう、3月下旬～4月上旬の開花時期にライトアップを行います。



【山崎川のライトアップ】

- ・音楽による地域のにぎわいづくり事業（地域力推進室）
サクラの開花時期など、季節の折々に地域の身近なところでコンサートを開催し、地域住民・学校・企業などの交流の機会とにぎわいを創出します。
- ・トップスポーツチームとの連携事業（地域力推進室）
瑞穂区に本拠地を置くトップスポーツチームである名古屋グランパス及びHC名古屋と連携してイベントを開催し、区内にトップスポーツチームがあるという瑞穂区の魅力をPRするとともに、地域のスポーツ振興をはかります。
- ・名古屋市立大学との連携による魅力発信事業（地域力推進室）
名古屋市立大学と連携したイベントの実施を通じて、参加者に区内にある高度な教育施設を身近に感じ、瑞穂区への愛着をより深めていただきます。
- ・瑞穂区の魅力発見！四季の風景撮影隊（地域力推進室）
四季の風景撮影隊員が撮影した瑞穂区の風景写真を瑞穂区公式フェイスブック等で紹介し、瑞穂区の魅力ある場所を発信していきます。
- ・地元の魅力発見！子どもお仕事体験（地域力推進室）
区にゆかりのある企業での仕事体験を通じて、区内の子どもたちに区の魅力を感じ、愛着を深めていただきます。
- ◎瑞穂区史跡散策路マップの作成（地域力推進室）
区民のみなさまが歴史や文化を身近に感じていただけるように、区内の史跡を案内するマップを一部改訂・作成し、区役所で提供します。
- ・なごや学マイスター講座の開催（生涯学習センター）
まち歩きなどを通して瑞穂区の魅力を発信する人材を育成することを目的とした「なごや学マイスター講座」を開催します。
- ・なごや学講座の開催（生涯学習センター）
市民一人ひとりが名古屋に愛着を感じ、誇りに思うことができるように、名古屋の歴史や文化、産業、自然などさまざまな視点から、名古屋をより深く知り、名古屋の魅力を再発見できるようにすることを目的とした「なごや学」の講座を開催します。



【音楽による地域のにぎわいづくり】



【夏休み薬学教室】

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆瑞穂区に住み始めて20年近くになりますが、友人やご近所を見ていると、若い方でもここを離れず2世代で住まわれています。学区や交通の便、自然文化、あらゆる面で落ち着いていて、住み続けたい街なんだろうと感じています。今後、人にやさしい街作りももちろんですが、人にやさしく出来る人が多い街作りをめざしてほしいと思います。
- ☆瑞穂区といえば桜、スポーツ、川等が連想されます。もう少し特徴を前面に出しPRしてほしい。
- ☆これからも瑞穂区民が楽しく生活できるように力を尽くしていただければと思います。

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(2) 地域とともにすすめるまちづくりの推進

現状と課題

区民まつりを始めとした区民との協働によるまちづくり事業は、区民が相互に交流する機会となっているとともに、区民が地域活動に参加する契機となっています。今後、さらに区の特長・魅力を活かしながら、さまざまな年齢層や団体との交流の機会を提供することにより、地域の誰もが、地域の活動に主体的に参加ができるまちづくりをめざしていきます。

また、平成28年9月に、2026年アジア競技大会の開催地が愛知・名古屋に決定されました。アジア競技大会はアジア版オリンピックともいわれ、スポーツの振興や国際交流の促進などさまざまな効果を生み出すと期待されており、そのメイン会場としてパロマ瑞穂スタジアム（瑞穂公園陸上競技場）が予定されています。メイン会場の所在地として、アジア競技大会の開催機運を盛り上げていく必要があります。さらに、パロマ瑞穂スポーツパーク（瑞穂運動場）では、大規模なスポーツ大会や試合が多く開催されており、そこに参加する選手や観客などの来訪者が安心・安全に訪れることができる瑞穂区にしていく必要があります。



【瑞穂区民まつり】



【瑞穂区民まつり（盆踊り）】

指標

事 項	29 年度	30 年度（目標）
区民アンケート 「地域の事業やイベントに参加した人」の割合	57.3 %	60 %以上
区民まつり来場者数	延べ24,000 人	延べ26,000 人以上

主な取り組み

- ・「瑞穂区民まつり2018」の開催（地域との協働、陸前高田市復興支援を通じた区民の防災意識の向上など）（地域力推進室・生涯学習センター）
企画・運営を地域団体とともに行い、出展・出店・発表の場を提供することで、区民・学校・団体・企業と行政の協働、地域コミュニティや区全体の活性化をめざして、パロマ瑞穂野球場前広場及び生涯学習センターで瑞穂区民まつりを開催します。また、名古屋市は岩手県陸前高田市と友好都市協定を締結しており、瑞穂区民まつりにおいて復興支援の意識啓発をはかるとともに、区民一人ひとりの、さらには地域の中で防災意識の向上をはかっていきます。
- ◎「スポーティブ・ライフin瑞穂」と連携した学区参加スポーツイベントの開催（地域力推進室）
毎年秋にパロマ瑞穂スポーツパークで開催されるスポーツイベント「スポーティブ・ライフin瑞穂」と連携し、区内地域コミュニティの活性化と区民のスポーツ振興を目的としたスポーツイベントを開催します。

・2026年アジア競技大会に向けた瑞穂区ジョギングパトロール（ジョグパト）の推進（スポーツの推進）（地域力推進室）

瑞穂区には、名古屋市全体の総合的なスポーツ拠点施設であるパロマ瑞穂スポーツパークがあり、パロマ瑞穂スタジアムは2026年アジア競技大会のメイン会場として予定されています。

スポーツ大会や試合に参加する選手や観客などの来訪者が安心・安全に訪れることができ、そして区民のみなさまにとっても安心・安全な瑞穂区をめざすとともに、区民が気軽にスポーツを行う機会づくりに加え、2026年アジア競技大会開催へ向けた盛り上げにもつながる取り組みとしてジョギングパトロールを実施します。



※ジョギングパトロール：日頃のジョギング、ウォーキングやペットの散歩などの機会に区民から公募したデザインの缶バッジ・ビブスを身に付けて地域のパトロールを行うことで、地域の安心・安全の向上とスポーツの振興をめざすボランティア活動です。

・ヤングサポーターみずほの活動の支援（地域力推進室）

区内7校の高校生と意見交換を行い、青少年をまもる運動、区民まつり、安心・安全で快適なまちづくりフェスタでキャンペーンを実施します。

・町内会・自治会活動への加入促進の支援（地域力推進室）

地域コミュニティ活性化をはかるため、区役所に町内会・自治会加入ポストを設置するほか、「広報なごや」やチラシで広報することにより、町内会・自治会の加入促進を支援します。

・公園愛護会・街路樹愛護会・川を美しくする会の支援（土木事務所）

協働により安心・安全で良好な公園・街路樹・河川を維持するとともに、制度・活動事例の紹介や新規設立の呼びかけを行います。

・街路灯パートナー・まごころ遊具等の普及（土木事務所）

多くの法人・個人に地域貢献に協力いただけるよう、「街路灯パートナー」「歩道橋ネーミングライツパートナー」「まごころ遊具」及び「なごやかベンチ」の制度の普及をすすめます。

・生涯学習センターで活動している自主学習グループの支援（生涯学習センター）

生涯学習センターで活動している自主学習グループについて、日ごろの学習・活動成果の還元・発表や仲間づくりなど、グループ活動の発展・活性化の支援をすすめます。

・生涯学習センターまつりの開催（生涯学習センター）

生涯学習の振興をはかるため、生涯学習センターで活動する自主学習グループの学習成果の発表と、地域住民の方々との交流の場として「みずほ生涯学習センターまつり」を開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆高齢者だけの住まいでは、分からないことが多くなってくるので、地域とのつながりを持ち、助け合っていけるといい。コンピューター、年金等、手続きなども難しくなっている。

☆町内会のあり方について、見直しや改善が必要だと思います。高齢化が進む中、町内の連携が特に必要だと思います。

☆自分が地域住民の一人として何ができるのか気になりながら一歩が踏み出せません。そんなアドバイスも受けられたらいいな。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(1) 災害に強い安心なまちづくりの推進

現状と課題

名古屋市では、平成25年度末に南海トラフ巨大地震の被害想定を公表しました。瑞穂区では、震度が6弱から6強、津波浸水深が区の南西部で1.5m未満との被害想定となりました（あらゆる可能性を考慮した最大クラス地震※の場合）。

また、災害は地震だけでなく、台風や近年多発するゲリラ豪雨等による風水害もあり、これらの災害に対する対策や備えも必要です。

東日本大震災や熊本地震の発生を受け、名古屋市が陸前高田市を始めとした被災地への支援をしていく中で、瑞穂区としてもこれらの地域から学び、今後起こるであろう災害からの被害を少しでも軽減するため、行政による災害対策の充実をはかるとともに、区民一人ひとりの、さらには地域の中で防災意識の向上をはかる必要があります。

※千年に一度あるいはそれより発生頻度は低いが大規模な被害をもたらす地震

◇南海トラフ巨大地震の瑞穂区の被害想定
(平成25年度公表 抜粋)

		あらゆる可能性考慮
最大震度		6強
津波	浸水予想学区	高田、堀田、穂波、井戸田
	最大津波浸水深	1.5m未満
	浸水開始時間	120~720分
対策前	死者数(冬・深夜)	約200人
	全倒壊数	1,500棟
対策後	死者数(冬・深夜)	約60人
	全倒壊数	約300棟

◇平成29年度 自助力向上の促進事業
瑞穂区実施状況

回数	227回
人数	11,998人

建物の耐震化率100%の達成、家具等の転倒・落下防止対策実施率の100%達成や適切な避難行動の実施等の対策をすることで、かなりの被害が軽減できます。

※詳細は名古屋市ウェブサイトでご覧いただけます。

指標

事項	29年度	30年度(目標)
指定避難所に関する区民向けイベント(訓練・研修・セミナー等)の実施回数	14回	15回
ぼうさいカフェ参加者アンケート「防災に関心をもった」と回答した方の割合	96.6%	100%

主な取り組み

◎区本部災害対応マニュアル班別研修の実施(全課)

熊本地震の教訓を踏まえ、瑞穂区災害対策マニュアルを見直すとともに、区役所職員を対象に新たなマニュアルを活用した研修を実施することで、職員の災害対応力および防災意識の向上をはかります。

○災害応急対策図上訓練の実施(総務課・消防署)

名古屋市災害対策本部瑞穂区本部及び各区隊等の連携及び災害対応力の向上をはかるため、区内の公所(署)が同じ想定のもと図上訓練を実施します。また、区役所においては新たな瑞穂区災害対策マニュアルを踏まえたより実践的な訓練を実施します。



【災害応急対策図上訓練】

・指定緊急避難場所の啓発及び指定(総務課)

ナゴヤ避難ガイド等を活用し、災害の種別に応じた指定緊急避難場所及び避難方法の啓発をはかるとともに、地域の実情を踏まえた指定緊急避難場所の指定をすすめます。

- ・地域避難行動計画の策定支援（総務課）**
大規模な地震が発生した場合に、地域住民が安全で適切な避難行動がとれるよう、地域の特性に応じた避難行動計画の作成を支援します。
 - ・防災訓練の実施（指定避難所開設・運営訓練、医療救護所訓練）（総務課・保健センター・消防署）**
発災時にスムーズな指定避難所運営ができるよう、行政機関や施設管理者と協力しながら、地域の指定避難所運営リーダーを中心に実施する学区の指定避難所開設・運営訓練をすすめます。また、瑞穂区の医師会等が主催する訓練に参加し、災害時に医療救護所となる市立中学校において開設及び救護活動の訓練を実施します。
 - ・指定避難所運営リーダーの養成（総務課）**
発災時に地域のみなさまで円滑に指定避難所を運営していただけるよう、指定避難所運営リーダーの育成に取り組むとともに、より実践的なリーダーを育成するため、研修に指定避難所開設・運営訓練を取り入れることで、地域における防災力のさらなる向上をはかります。
 - ・ツイッターを利用した災害情報の発信（総務課）**
災害時に区民が身を守るために役立つ情報などを、ツイッターで発信します。
また、災害応急対策図上訓練の中で、実際にツイッターを使用した情報発信訓練を実施します。
 - ・助け合いの仕組みづくりの推進（総務課）**
高齢者や障害者など災害時に支援が必要な方々について、平常時から地域での安否確認や支援の方法などを話し合い、災害に備える「助け合いの仕組みづくり」の取り組みを支援します。
 - ・ぼうさいカフェの実施（総務課）**
子どもとその保護者を対象に、防災に関するわかりやすい講演や体験型ワークショップを開催し、気軽に楽しみながら防災について学べる場を提供することで、家庭における自助力や地域における防災力の強化につなげます。
-
- 【ぼうさいカフェ】
- ・落合橋の耐震補強の推進（土木事務所）**
落合橋は、緊急輸送道路に指定されている県道岩崎名古屋線の山崎川に架かる重要な橋です。その落合橋において、耐震補強工事を実施します。
 - ・地震時等に危険な木造住宅密集地域への防災対策の推進（新たな初期消火資器材（スタンドパイプ）の導入）（消防署）**
地震時等において、大規模な火災が発生するおそれや、道路閉塞による避難経路の喪失のおそれがある木造住宅密集地域に対して、新たな初期消火資器材として水バケツや消火器よりも消火能力の高い消火資器材（スタンドパイプ）の導入をはかります。
また、導入後は、スタンドパイプの取扱いを含めた自主防災訓練を実施し、地震時における初期消火体制の充実強化をはかります。
 - ・災害対策の充実（実践的な自主防災訓練、自助力向上の促進事業）（消防署）**
小学校区単位で組織された防災安心まちづくり委員会を中心とした住民参画型の防火防災活動をすすめ、地域や事業所による自主的な助け合い活動を推進します。また、平成27年度から本格的に取り入れていただいた町内会単位によるきめ細かい実践的な防災訓練の実施を引き続きすすめるとともに、自助力向上の促進事業により家具の固定、非常持出品の準備など、家庭で行う防災対策の普及促進をはかります。
 - ・防災をテーマとした講座の開催（生涯学習センター）**
地震や豪雨・台風などといった自然災害について、防災・減災のために地域や家庭でできる備えについて学び、防災に対する区民の意識向上と備えをすすめていくための講座を開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆防災のセミナーや体験訓練を開催してほしい。
- ☆各地で災害が多く発生しています。住民が安心、安全に生活が出来ますようお願い致します。
- ☆防災訓練に参加させてもらい、避難してからの説明を受け、とても有意義な時間でした。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(2) 安全なまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区は、犯罪や火災、交通事故などが他区より少なく、比較的安全な区です。犯罪については、平成29年刑法犯認知件数が16区中1番少ない区です。犯罪種別にみると、自転車盗の認知件数が重点犯罪の約46%を占めており、次に車上ねらいが約23%、住宅対象侵入盗が約7%となっています。

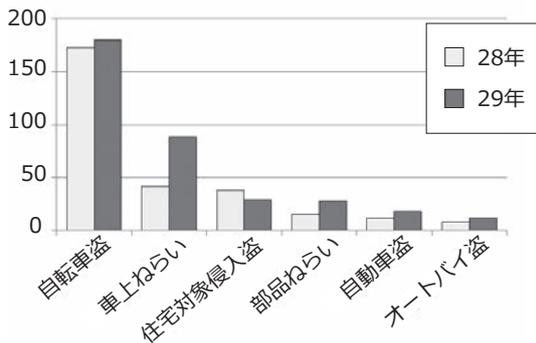
また、インターネットの有料サイト利用料をだまして振り込ませる架空請求詐欺などの特殊詐欺が15件発生しており、心当たりのない請求が届いたら、まず家族や警察に相談し、安易に相手に連絡をしないなどの対策を広める必要があります。

火災については、平成29年火災発生件数は13件で16区中1番少ない区となっています。

交通事故については、平成29年の人身事故件数が16区中2番目に少なく、瑞穂区内の交通事故死傷者数は近年減少傾向にあります。平成25年から29年までの交通事故死者数合計11人の内8人は60歳以上の方となっています。

犯罪、交通事故のこうした状況を地域に周知するとともに、状況に応じた効果的なパトロールや啓発活動などを行っていく必要があります。

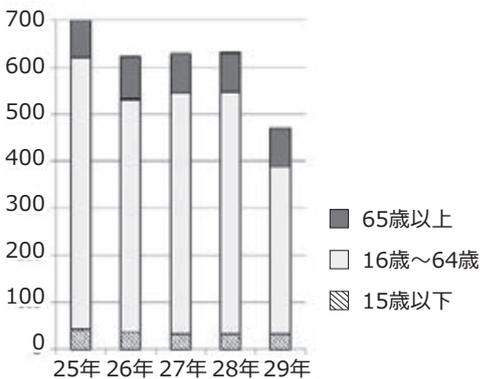
◇瑞穂区重点罪種発生件数（上位6罪種）



◇瑞穂区特殊詐欺発生件数

年	27	28	29
件数	19	10	15

◇瑞穂区交通事故死傷者数



◇瑞穂区火災発生件数

年	25	26	27	28	29
件数	18	20	15	12	13

◇瑞穂区交通事故死者数

年	25	26	27	28	29
人数	5	1	2	0	3

指標

事項	29年度	30年度（目標）
青色回転灯パトロール実施回数	41回	40回以上
交通安全啓発活動実施回数	57回	60回以上

取組み

- ・(再掲) 2026年アジア競技大会に向けた瑞穂区ジョギングパトロール（ジョグパト）の推進（安心・安全なまちづくり）（地域力推進室）（→P7）

◎ハンドアップ運動の推進・飲酒運転の根絶（地域力推進室）

愛知県内で歩行者の道路横断中の死亡事故が非常に多くなっているため、瑞穂警察署と連携してハンドアップ運動を推進します。

また、飲酒運転の根絶をはかるため、みずほっぺの飲んだらイカン（缶）バッチキャンペーン等を実施して啓発します。

※ハンドアップ運動：横断の意思やお礼の気持ちをドライバーに手をあげて伝え、道路横断中の事故を防ぐ運動です。



○交通安全対策の推進（啓発の実施、交通安全施設の設置）（地域力推進室・土木事務所）

各小学校へ交通指導員を派遣し自転車の安全利用や交通ルールなどの指導を行うとともに、ふれあい給食会などで交通安全について啓発活動を行い意識の向上をめざします。また、平成29年4月1日（保険関係部分は平成29年10月1日）に施行された「名古屋市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の3つの柱である交通安全教育の充実、高齢者のヘルメット着用、自転車損害賠償保険等の加入義務化の啓発をすすめます。

このほか、街路灯や区画線（白線）などの交通安全施設の設置・維持管理を実施します。特に、ゾーン30に指定された区域においては、区域入口のカラー化・区画線の明確化などの安全対策をすすめます。

※ゾーン30…生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的に、公安委員会がゾーンを定め時速30kmの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する車両の抑制をはかるもの。

【指定箇所がある学区】（平成30年3月末現在）

御劔学区、穂波学区、井戸田学区、豊岡学区、陽明学区、汐路学区（4ゾーン） 計6学区（9ゾーン）

・瑞穂警察署との瑞穂区安心・安全なまちづくりに関する協定による取り組み（地域力推進室）

瑞穂区役所と瑞穂警察署は平成29年4月26日に瑞穂区安心・安全なまちづくりに関する協定を締結しました。瑞穂区役所と瑞穂警察署が犯罪や交通事故の情報を速やかに共有し、その情報を区民のみならずタイムリーに広報していきます。また、瑞穂区ジョギングパトロールを広める取り組みを連携して行ってまいります。

・防犯対策の推進（地域力推進室）

小学校通学路や街頭犯罪多発地域を中心に、警察署等と連携してパトロールを継続して実施します。また、防犯キャンペーンや啓発活動、地域防犯に関する地域での取り組みを推進します。

・瑞穂区マスコットキャラクターを活用した安心・安全なまちづくりをすすめる啓発事業（地域力推進室）

交通安全や防犯等のキャンペーンの実施に際し、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」を活用して、安心・安全なまちづくりをめざす取り組みを、より親しみやすく身近に感じていただけるような形で啓発します。

・歩道のバリアフリー化の推進（土木事務所）

横断歩道箇所における歩道の切り下げと視覚障害者誘導ブロックの設置を併せて行うことで、バリアフリー化をすすめます。

さらに、勾配がきつい歩道について勾配改善を実施し、バリアフリー化をすすめます。

区民アンケートでいただいたご意見

☆瑞穂区は10年、5年前と比べて犯罪数が少なくなってきたと感じます。これからも地域ぐるみでの防犯、見まわりなどの活動に力を入れていってください。

☆道路のバリアフリー化をどんどん進めていただき、高齢者や障害のある方も皆が住み良い街にしていきたいです。

☆歩行者や自転車の方の信号無視が多いので、呼びかけなどの対策をしてほしいです。

☆暗い道があるので街灯を増やしていただきたいです。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(3) 快適な環境づくりの推進

現状と課題

瑞穂区では平成18年度に「瑞穂区エコライフのまちづくり宣言」を行い、以降環境先進区をめざした取り組みを実施し、環境意識の向上をはかってまいりました。その中の取り組みの一つにあるように「ごみも資源も、元から減らす」発生抑制の視点で取り組みをすすめ、ごみの排出量を減らすことが重要です。

また、犬や猫に関する苦情相談は、継続的に寄せられています。今後も、飼主のマナー向上に向けて、啓発等を行っていく必要があります。

◇犬・猫の苦情相談件数の推移（単位：件）

	27年度	28年度	29年度
犬	39	46	67
猫	38	77	54

指標

事 項	29年度	30年度（目標）
区民アンケート 「以前に比べ犬のふんを放置する人を見かけなくなった人（※）」の割合	60.9%	70%

（※）「見かけなくなった」、「あまり見かけなくなった」と回答した方

主な取り組み

- ・「環境デーみずほ2018」の開催（地域力推進室）**
 区役所を中央会場として、楽しく環境について学べるイベントを実施するほか、区内全域で清掃活動などに取り組みます。
- ・新瑞橋クリーン作戦の推進（地域力推進室）**
 美化推進重点区域である新瑞橋バスターミナル周辺の清掃活動を、関係公所や関係団体との連携をはかりながら実施します。
- ・「愛犬クイズラリー山崎川」の開催（保健センター）**
 犬の散歩が多い山崎川沿道で、犬の飼い方マナーアップに関するクイズラリーを開催し、楽しくウォーキングしながらマナーアップをはかります。ゴール地点では、「愛犬の体脂肪率測定」や「なんでもしつけ相談」など犬に関するブースも用意し、愛犬についての困りごとなどにお答えします。



【環境デーみずほ】

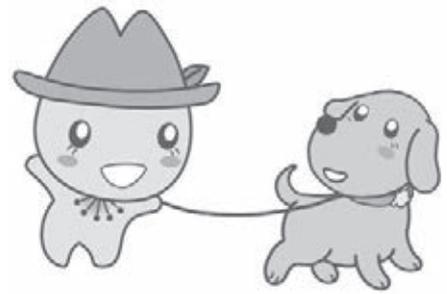


【愛犬クイズラリー】

・犬や猫の適正な飼い方の啓発推進（保健センター）

犬や猫による迷惑発生防止のため、飼主への指導を行うとともに、啓発用の看板やラミネートポスターの配布など効果的な啓発活動をすすめます。

また、飼主のいない猫に起因する被害でお困りの方へ忌避方法の紹介や忌避装置の貸し出しも行います。



・河川の清掃活動（土木事務所・パロマ瑞穂スポーツパーク）

一般社団法人名古屋建設業協会の協力により、山崎川の清掃及び河川に関する情報収集を行い、細やかな河川の維持管理を実施します。

・ごみ減量、ごみ・資源の分別、適正排出の促進（環境事業所）

電話での問合せ、窓口対応時のほか、環境デー、区民まつりを始めとするさまざまな地域活動の機会を活用したり、市公式ウェブサイトやスマートフォンなどの情報端末向けアプリによる情報発信をしたりすることにより、ごみの減量、分別及び排出抑制の意義、必要性等について啓発をすすめていきます。

また、3月下旬～4月上旬の転入者が多い時期に、区役所に「ごみ案内所」を設置して、ごみ・資源の分別と出し方について周知します。

・不法投棄の防止（環境事業所）

廃棄物の不法投棄を防止するため、要注意場所の巡回パトロールや夜間パトロールを実施します。

・ごみ・資源の収集における区民サービスの向上（環境事業所）

丁寧で確実なごみ・資源の収集に取り組みます。また、高齢者や障害者などのひとり暮らし世帯で、ごみや資源を所定の場所まで出すことが困難な世帯を対象に、原則として玄関先で収集する「なごやか収集」を実施します。

・水辺の生き物観察教室などの環境イベントの開催（南区公害対策室）

山崎川親水広場における水辺の生き物観察教室をはじめ、地域の集まりやイベントなどさまざまな機会をとらえて、環境学習を推進します。



【ごみ分別アプリ「さんあ〜る」】

区民アンケートでいただいたご意見

☆歩行者のマナー改善に力を入れるべきである。タバコやゴミのポイ捨てが非常に多く、犬のフンを持ち帰らない人もすごく多い。小学校の通学路でもあるので、清潔に保つべきである。人の家のゴミ袋をあさる人があまりにも多すぎる。

☆犬だけでなく猫の飼育や野良の動物に対しても広く対処してほしい。

☆半年前より瑞穂区民となりましたのでまだ知らない事が多いですが、緑の多い環境が気に入っています。ごみ回収なども各家庭で気を付けて住民皆でよい住環境を作っていく事が大切に思います。一人一人の意識向上がよい住環境につながっていくと思いますので、取り組み推進を引き続きよろしく願いいたします。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(1) 福祉活動の推進

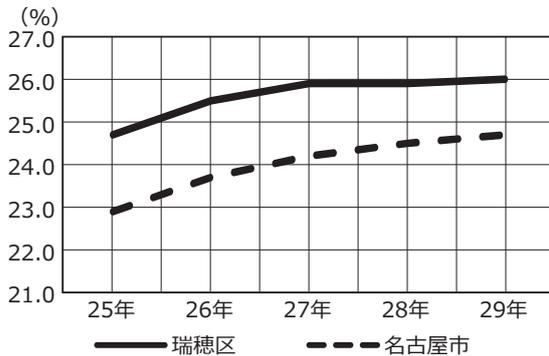
現状と課題

瑞穂区の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は名古屋市平均より高く、高齢化が進んでいます。ひとり暮らし高齢者数も年々増加傾向にあり、地域ぐるみの見守りや支援が必要です。

また、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行され、その理念の普及・啓発に取り組んでいます。

今後も障害を理由とする差別をなくし、誰もが自分らしくいきいきと暮らせるよう引き続き啓発につとめます。

◇瑞穂区における高齢化率推移 ※公簿人口による（各年10月1日現在）



【みずほフェスタ】

◇65歳以上1人世帯数の推移

(各年10月1日現在)

	25年	26年	27年	28年	29年
名古屋市	86,973	89,262	92,798	94,984	97,453
瑞穂区	4,694	4,864	4,931	4,907	4,956

※平成22年及び平成27年国勢調査確定値に基づく推計

指標

事項	29年度	30年度(目標)
みずほフェスタにおける来場者アンケート「大変よかった・よかった」と回答した人の割合	84.6%	85%
地域支えあいマップづくりに取り組んでいる町内数	11学区 239/249町内	11学区 245/249町内

主な取り組み

○地域包括ケアの推進（福祉課・保健センター・区社会福祉協議会）

団塊の世代が75歳以上になり介護が必要な高齢者が急増する2025年までに、「瑞穂区地域包括ケア推進会議」を中心に、高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう在宅医療・介護の連携を推進するなど、地域包括ケアシステムの構築をめざします。また、地域包括ケアシステムへの啓発用のパンフレットを作成して、理解の促進につとめます。

◎在宅医療・介護に関する出前講座の開催（福祉課）

地域包括ケアを推進するため、講師を派遣し、寝込む前の備えから終末期までの在宅医療・介護について区民のみなさまに学んでいただく出前講座を開催します。

- ・みずほフェスタ'18の開催（福祉課・保健センター・区社会福祉協議会）
 地域包括ケアシステムを普及・啓発するため、区役所をはじめ医療・福祉関係者が協働して企画・運営している瑞穂区で最大の福祉イベントです。開催期間中は、区民のみなさまの多様なニーズに応えられるよう、講演会や各種講座を開催します。
- 「みずほっぺあんしん情報シート」の普及（福祉課・消防署）
 かかりつけ医や緊急連絡先等を記入した「みずほっぺあんしん情報シート」を民生委員を通じ65歳以上のひとり暮らし高齢者に配付します。さらに、日中や夜間に独居となる高齢者及び75歳以上の高齢者のみの世帯で希望する方にも提供します。
- ・老人クラブの会員増への支援（福祉課）
 老人クラブの会員増をめざして、広報なごやへの記事掲載（老人クラブの活動のPR等）をはじめ、クラブ行事を実施する際にPRチラシの配布や加入相談を行うなどの支援をしていきます。また、瑞穂区老人クラブ連合会の愛称である「なごやかクラブ瑞穂」の周知もはかります。
- ・障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりの推進（福祉課）
 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が平成28年4月1日に施行されました。地域でも意識のバリアフリーの向上がすすめられるよう瑞穂区障害者自立支援連絡協議会と連携し、さまざまな障害への理解に向けた啓発につとめます。また、障害者の就労の支援の一環として、区役所での授産製品の販売を行います。
- ◎瑞穂区マスコットキャラクター付医療情報カードの配付（保険年金課）
 いざという時に安心して受診していただけるよう、休日・夜間に受診可能な診療所等の情報が掲載されたカードを医療助成証とともに配付します。
- ・ご近所での見守り・支えあい活動の推進（区社会福祉協議会）
 「地域支えあいマップづくり」を通してひとり暮らし高齢者等を見守る「ふれあいネットワーク活動」をさらに推進するとともに、「地域支えあいマップづくり」に取り組んでいただく町内数を増やしていきます。また「地域力の再生による生活支援推進事業（地域支えあい事業）」の実施学区を増やし、高齢者等の個別支援活動の充実をはかります。
- ・福祉ボランティア活動の推進（区社会福祉協議会）
 区社会福祉協議会ボランティアセンターで、ボランティア活動に関する相談、コーディネート等を行います。また、各種ボランティア体験講座や養成講座を開催し、ボランティア活動の普及につとめます。
- ・福祉会館事業の実施（区社会福祉協議会）
 生きがいづくり・健康づくり・仲間づくり・介護予防等を目的に、趣味や各種講座の開催、介護予防事業・入浴サービス等を実施します。また、児童館との共催で、子どもと高齢者との交流事業を行います。

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆一人で住んでいる高齢者の方が多いので、その人達も暮らしやすいまちづくりをお願いしたいです。
- ☆独居老人の憩いの場や、共働きの親を持つ子供の食育の場が増え、孤立する人が減ると良いと思います。
- ☆子供にもお年寄りにもやさしい区を継続してください。
- ☆「地域包括ケアの推進」というのは以前から思っていましたが、それほど周知されていません。在宅医療・介護連携支援センターは瑞穂区内のどこにあって、どんな活動をされているのか、設置されているだけでは何にもなりません。もっと具体的に、どんな内容でどういう人が利用できるのか（要介護・要支援レベル）を教えてください。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(2) 子育て支援の推進

現状と課題

名古屋市の人口構成をみると、15歳未満の子どもについて20、30年前と比べ人口、構成比ともに減少しており、少子化が進行しています。

また、核家族化の進行やライフスタイルの変化に伴い、身近に協力者や相談相手がおらず、子育てに悩みや不安を抱えている人が増えています。保護者に対して仲間づくりや相談の場を提供することにより、子育ての不安感・負担感や孤立感を和らげ、子育てを楽しむとともに、保護者が子どもと十分に向き合い、子どもの育ちを支えていける環境づくりが求められています。

◇15歳未満人口 (各年10月1日現在)

	名古屋市	構成比	瑞穂区	構成比
昭和62年	412,920人	19.3%	20,027人	17.6%
平成9年	314,997人	14.6%	13,522人	12.8%
平成19年	293,674人	13.1%	12,698人	12.0%
平成29年	281,992人	12.2%	13,282人	12.4%

※平成29年の構成比は年齢不詳を含まない人口総数を分母としています。
名古屋市年齢5歳階級別人口(全市・区別)より

◇児童相談所における児童虐待相談受付件数 (単位:件)

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1,522	1,800	2,165	2,515	2,869

中央児童相談所・西部児童相談所受付件数計

◇瑞穂区における子育て相談件数 (単位:件)

	27年度	28年度	29年度
子育て総合相談窓口 (子育て世代包括支援センター) における相談件数	3,444	4,652	4,528

指標

事項	29年度	30年度(目標)
さくらひろば参加者の満足度	89.6%	90%
オレンジリボン認知度	37.5%	40%
子育てサロン等での保健師による 子育て出張相談の回数	166回	175回
事故予防教室等での子どもの心肺蘇生法の 実施回数	14回	22回

・児童虐待のないまちづくりの推進（民生子ども課）

5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に行うオレンジリボンキャンペーンなどの啓発活動を区内大学と連携しすすめることにより、子育て世代だけではなく若い世代にも子どもを守り育てる意識の向上をはかります。また、学校や主任児童委員との連携強化による地域での見守りの充実や、親支援プログラムの実施などを通して、子育てに不安を抱える方の支援をすすめます。このほか、命、家族の大切さ、生きることの素晴らしさを感じていただく映画会を開催し児童虐待の未然防止をはかります。



【オレンジリボンキャンペーン】

・瑞穂区子育てサロン「さくらひろば」の開催など子育てしやすいまちづくりの推進（民生子ども課・保健センター）

子育てしやすいまちづくりをめざし、区内の子育て支援者と協力して実施している子育てサロン「さくらひろば」を引き続き開催するとともに、区内大学とも連携して子育てサロンを開催する等、サロン内容の充実をはかります。また、「さくらひろば」及び地域の子育てサロンで、保健センターの保健師・栄養士・歯科衛生士が出張子育て相談を行います。さらに、区独自に対象を拡大して実施している主任児童委員等による「赤ちゃん訪問」など、育児に対する不安解消・子育て家庭の孤立防止のための取り組みをすすめます。



【さくらひろば】

◎名古屋女子大学との連携による子育て支援事業（民生子ども課）

名古屋女子大学と連携して子育て家庭向けのイベントを開催し、大学の教育研究の成果を地域のみなさまの子育てに活かしていただくとともに、区役所から子育て情報を提供します。

・子育て情報の発信（民生子ども課）

「瑞穂区子育てマップ」を更新し、赤ちゃん訪問の機会を中心に配布するほか、瑞穂区子育てネットワーク「さくらっこ♪」と協力して、区内の子育て情報を発信します。

※「瑞穂区子育てマップ」は瑞穂区ウェブサイトでご覧いただけます。

・妊娠期からの切れ目のない支援の充実（保健センター）

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実するため、保健師等がすべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、妊産婦が必要な子育て支援施策を円滑に利用できるよう情報提供していきます。また、必要に応じて相談・助言を行います。

・子どもの事故予防・心肺蘇生法の普及（保健センター）

親が子どもの命を守るようにするため、子育て教室や地域の子育てサロンなどで心肺蘇生法の講習会を行い、事故予防・応急手当の普及啓発をはかります。

・児童館事業の実施（区社会福祉協議会）

子どもたちに遊び場を提供するとともに、主体性や自主性、社会性を身につけられるような事業を実施するほか、子育ての拠点として、親子で楽しめる事業を実施し子育て支援を行います。また、移動児童館を実施するほか、福祉会館との共催により子どもと高齢者の交流を行います。

区民アンケートでいただいたご意見

☆保育施設と高齢者の施設を同一にしたり、もう少し縦社会のつながりのある街にしてほしい。

☆子育て支援は次世代育成の為、大切にしてもらいたいと思います。

☆子どもが参加できるイベントはとてもありがたい。募集人数の幅がせまく抽選からまれてしまう事もあるので改善してほしい。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(3) 健康づくりの推進

現状と課題

瑞穂区は、平成21年3月に健康づくりのボランティアグループ「健康ささえ隊」を結成し、自宅近くの公園やコミュニティセンターで「みずほ体操」を実施しているほか、健康づくりのためのさまざまな取り組みを行っています。今後は、こうした取り組みを効果的にPRすることにより、幅広い世代の方々が健康に対する関心を持つようになることが必要です。

また、胃がん・大腸がん検診、乳がん検診を実施しています。なかでも乳がんは子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気であり、罹患率・死亡率も年々増加しています。区民に身近な場所に出向いて検診を実施することにより、多くの方に受診していただくことが必要です。



【健康ささえ隊】



【みずほ体操】

指標

事 項	29 年度	30 年度 (目標)
「健康づくり会場」等の参加者数	延べ41,064 人	延べ42,000 人
区民アンケート 「みずほ体操を知っている人 (※)」の割合	19.7 %	25 %

※ 「知っている」「聞いたことはある」と回答した方

◎名古屋女子大学との連携による高齢者の介護予防事業（福祉課）

名古屋女子大学で栄養学などを学んでいる学生と連携して高齢者向けのサロンを開催することにより、参加する学生と高齢者との世代間交流をすすめます。また、この場を食生活の見直しの機会としていただき、高齢者が健康でいきいきと生活できることをめざします。

・みずほ健康づくりマップによる健康づくりの普及（区役所・保健センター・土木事務所の連携）
（保健センター・地域力推進室・土木事務所）

身近な場所で健康づくりができるよう、区内の自主的な健康づくりの場の情報をまとめた「みずほ健康づくりマップ」を、区役所や保健センターなどで配布します。

・みずほ体操の普及と健康ささえ隊の活動支援（保健センター）

さまざまな保健センター事業や広報媒体を通して「みずほ体操」や「健康ささえ隊」の活動を紹介します。

また、区内23か所の「健康づくり会場」で活動する「健康ささえ隊」が、地域に浸透し、発展するよう、活動を支援します。



・男性向け健康づくり教室の実施（保健センター）

男性が参加しやすい健康づくり教室をめざし、男性限定で筋力アップなどを中心とした教室を実施します。

・高齢者サロン等における介護予防の推進と活動支援（保健センター）

地域で開催されている高齢者ふれあいサロンや高齢者ふれあい給食会等に、保健師等が出向き、出張健康相談を実施します。

また、保健センターの保健師・栄養士・歯科衛生士等が、健康講話を行い、介護予防を推進するとともに、高齢者サロン等の活動を支援します。

○乳幼児期の歯の健康づくりの推進（保健センター）

幼稚園・保育所において集団で行うフッ化物洗口（うがい）の普及につとめ、区内の4・5歳児のう蝕（虫歯）有病者率の減少をはかります。また、瑞穂区歯科医師会・歯科衛生士会とともに開催する「歯と口の1日健康センター」をPRし、無料で乳幼児の歯科検診・相談・フッ素塗布等を実施します。

・乳がん検診の出張検診の実施とがん検診のPR強化（保健センター）

30歳代から増加し始め50歳前後にピークを迎える乳がんについて、利便性の高い場所での出張検診を実施し、早期発見・早期治療につなげます。また、胃がん検診などのPRを行いがん予防を推進します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆皆様が健康で子供達ものびのび暮らし、お年寄りと子供に優しい区、障害のための施設、就職がしやすい区にしてほしい。

☆ロコモ体操等、健康体操が継続して参加できる場所があれば良いのと思います（時々テレビで見ますので）。

☆公園や広場などにシニア向けの健康器具などを設置してほしい。

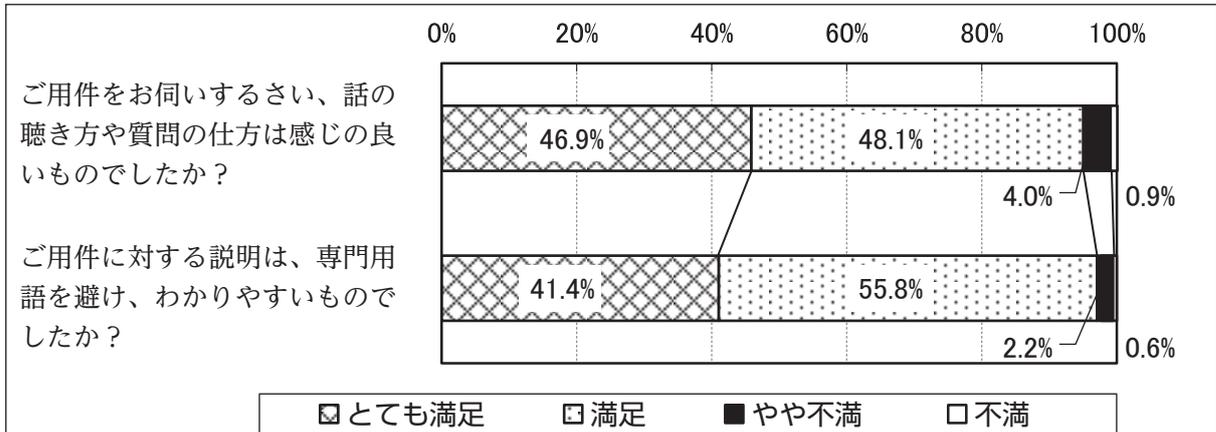
4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(1) 快適な窓口サービスの提供

現状と課題

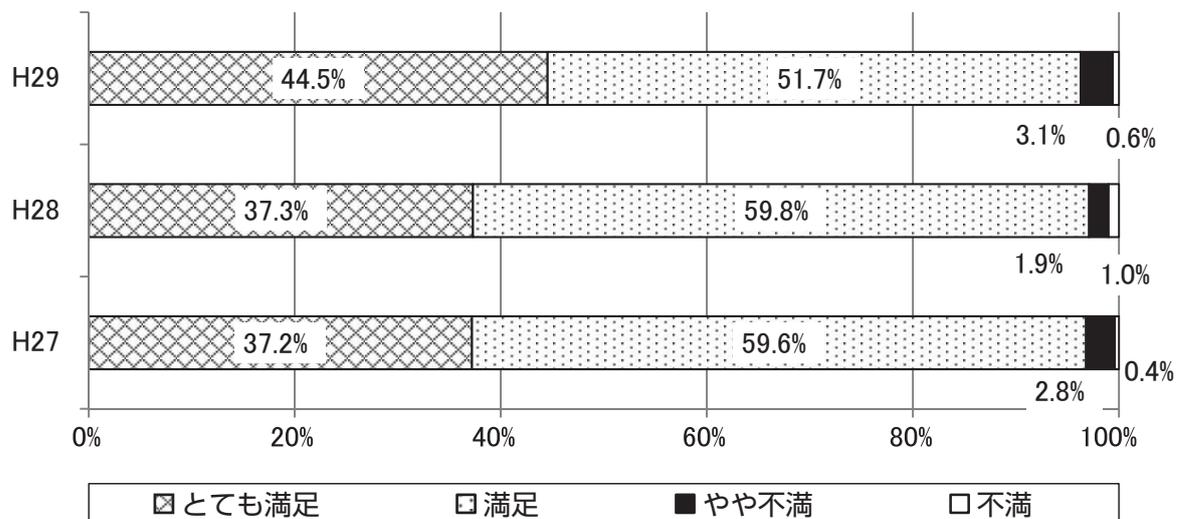
平成29年度に実施した窓口アンケートでは、窓口サービスに対する総合満足度が“とても満足”または“満足”と感じられた区民の方の割合が、96.2%と高い水準にあります。

一方で、自由意見では「説明不足で分からない」や「声が小さくて理解しにくい」などの意見が寄せられています。



※平成29年度 さわやか市民サービス運動「窓口アンケート」実施結果より

◇窓口サービスに対する総合満足度の三カ年比較



※平成27年～平成29年度 さわやか市民サービス運動「窓口アンケート」実施結果より
数字は小数点以下第二位を四捨五入したもの

指標

事項	29年度	30年度(目標)
話の聴き方や質問の仕方についての満足度	95.0%	96%
わかりやすい説明についての満足度	97.2%	98%
窓口サービスに対する総合満足度	96.2%	97%

- ・お客様満足度向上・区役所サービス向上をめざした取り組みの実施（全課）
職員研修などを通じて、接遇のレベルアップをはかり、お客様の満足度の向上につとめます。

◎受付番号札発券機の設置による窓口環境の改善（市民課）

市民課に受付番号札発券機を設置し、立ったままお待ちいただくことの解消につとめます。



【受付番号札発券機】

- ・正確で迅速な証明書交付事務（市民課）

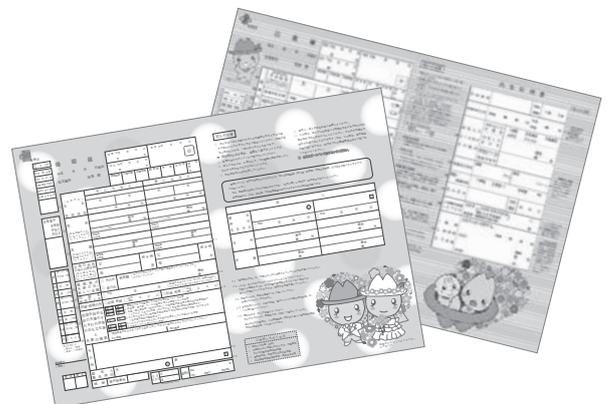
各種証明書類を正確で迅速に発行・交付します。また、混雑時は受付窓口を増やすなどにより待ち時間の短縮をはかります。

- ・各種証明取得のための便利な窓口サービスの案内（市民課）

居住区以外の区役所や開庁時間外でも住民票の写しなどの証明書等が取得できる窓口サービスの案内や、日曜窓口の開催日や窓口混雑情報などの広報をすすめ、利便性の向上をはかります。

○おもてなし向上事業（市民課・保険年金課）

瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」をデザインに取り入れた椅子カバーを1階待合スペースに設置し、待合フロアを明るい雰囲気には保ちます。また、「みずほっぺ」を用いた瑞穂区オリジナルの婚姻届・出生届を作成するとともに、婚姻届を提出される際に自由に記念撮影できるように1階総合案内横にメモリアルボードを設置するなど、みなさまに満足いただける区役所づくりにつとめます。



【瑞穂区オリジナル婚姻届・出生届】

- ・福祉コンシェルジュ（福祉制度案内嘱託員）の配置（福祉課）

窓口案内、申請書の記載案内、高齢者や障害者等の相談や制度案内を行う福祉コンシェルジュを配置し、窓口サービスの向上をはかります。

- ・保険年金課窓口におけるフロアサービス実施（保険年金課）

窓口案内・届書記載補助などを行うフロアサービス員を配置し、受付時間の短縮をはかりお客様をお待たせしないようにつとめます。

- ・ボランティア清掃の実施（全課）

毎月定期的に職員が区役所周辺の歩道を中心に清掃を行い、お客様に気持ちよくご利用いただけるようつとめます。

また、区内一円にわたって、保健センター、土木事務所、環境事業所、消防署、社会福祉協議会や、区内の官公所（署）とも連携してボランティア清掃を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆書類などで区役所におじゃますることが何度かあります。区役所の顔となる窓口の方々の笑顔がなくとても残念に思う事があります。

☆区役所の対応はとても良くなったが、職員と区民とのふれあい、意見交換等がもっと有ればもっと良くなる！

☆窓口対応について、以前よりかなり改善されましたが、年々高齢者が増加しますので、社会的弱者の目線で、面倒ですが、より一層の努力をお願いします。

4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(2) 広報・広聴の充実など

現状と課題

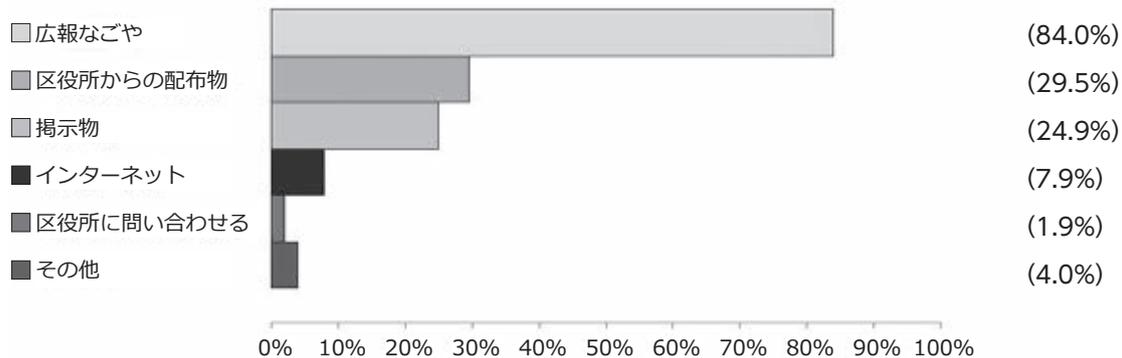
現在、瑞穂区では広報なごや、区ウェブサイト、情報サテライト（地下鉄瑞穂区役所駅構内に設置）、行政情報モニター（1階待合スペースに設置）等を利用して区民のみなさまへの情報発信を行っています。しかし、各種イベントや区政の取り組み内容など、区民における認知度が十分であるとは言えず、更なる広報の充実が必要であると考えています。

そのため各戸配布の「広報なごや」については、情報を整理し、見やすい紙面づくりに引き続き取り組むとともに、多様な媒体での情報発信のツールを充実するため、区公式ツイッターやフェイスブックの更新を積極的に行い、情報の量的・質的な充実をはかっています。

また、広聴活動については、より良い瑞穂区をめざしていくため、継続的に区民ニーズを把握していく必要があることから、区民のみなさまのご意見をお伺いするために地域懇談会や区民アンケート等を実施しています。

◇区役所の事業・行事・お知らせなどの情報をどのようにして（どの媒体から）入手していますか

（複数回答）



平成29年度瑞穂区区民アンケート結果

指標

事項	29年度	30年度（目標）
区ウェブサイト総ページアクセス数 （トップページを含む全てのページ）	339,183件	340,000件以上
区公式ツイッターのフォロワーの数	1,358件	1,400件以上

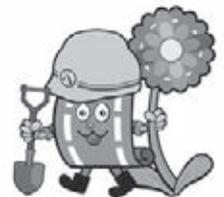
主な取り組み

○名古屋市立大学・越原学園・瀬木学園との連携（企画経理室）

瑞穂区役所は、平成28年6月15日に名古屋市立大学、平成29年6月28日に名古屋女子大学などを設置する学校法人越原学園と包括的な連携・協力に関する協定を締結しました。これらの協定は、大学などにおける教育研究の充実及び学生の実践力の養成をはかるとともに、地域社会の発展に寄与することを目的としています。協定にもとづき多様な分野で連携・協力した取り組みを実施します。また、平成30年度には、愛知みずほ大学、愛知みずほ短期大学などを設置する学校法人瀬木学園とも連携協力協定を締結する予定です。

主な取り組み

- **広報の充実（地域力推進室・企画経理室）**
広報なごや・区ウェブサイト・情報サテライト・行政情報モニター等をひきつづき活用するとともに、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した広報をいっそう推進し、積極的な広報を行います。
- **広聴事務（地域懇談会等）の実施（地域力推進室）**
区長をはじめとする区内公所（署）長や関係局職員が各学区へ順次出向いて、地域の方と直接意見交換する地域懇談会などにより、行政についての広報・広聴の充実をはかります。
- **区民会議の開催（企画経理室）**
区民意見を反映した区政運営ができるよう、区民会議を開催します。
※区民会議…区民の区政への参画を推進し、区政運営方針や区の将来の方向性等に関し意見をお聴きするため、平成28年度より各区で実施している会議。
- **区民アンケートの実施（企画経理室）**
区政運営に関して区民のみなさまの考えやご意見を把握し、今後のまちづくりに活かします。
- **区政推進会議の開催（企画経理室）**
区政推進会議を開催することにより、区内官公所（署）の連携をすすめて、区における総合行政の推進をはかります。
※区政推進会議…区内官公所（署）長等で構成する会議で、区の総合行政の推進を目的として各区に置かれています。
- **区まちづくり基金の設置（企画経理室）**
区民のみなさまや区にゆかりのある方の区のみちづくりへの想いを生かすため、区まちづくり基金が平成28年4月に設置されました。いただいた寄附金は、ご希望の用途に沿うようさまざまな事業に活用してまいります。
※平成29年度の瑞穂区への寄附金の実績はありません。
- **明るい選挙の推進（総務課）**
「私たちの一票が正しく投票されること、同時に、国民一人ひとりの政治に対する関心と意義を深めていく」という、明るい選挙の推進運動の趣旨に基づき、若者から高齢者まで地域に根ざした啓発活動を継続してすすめていきます。
- **瑞穂土木だよりの発行、名古屋市ウェブサイトへの掲載（土木事務所）**
瑞穂土木だよりを年2回発行するとともに名古屋市ウェブサイトへ掲載し、より親しまれる土木事務所をめざします。



【どりょくん】
名古屋市緑政土木局
直営補修班イメージキャラクター

区民アンケートでいただいたご意見

- ☆取り組みやイベント等の内容や活動が、更にもっと区民に分かる、認知度が上がると良いなと思いました。ホームページなどの情報発信が広がると情報を受け取りやすくなると思います。
- ☆瑞穂区主催のイベントや講演会等のチラシを地下鉄駅にも置いてほしいと思います。
- ☆取り組みも費用対効果を意識し、本当に必要とするところに予算を割いてもらえると良いと思います。

※区民アンケートでいただいたご意見について

平成29年度瑞穂区区民アンケート調査において寄せられたご意見から抜粋・要約したものです。

アンケート調査の概要

調査期間：平成29年7月26日～平成29年8月8日

調査対象：瑞穂区に居住する満18歳以上の区民 2,000人（無作為抽出）

回答数：調査票 954件（回答率47.7%）

設問内容：平成28年度の区政運営方針の各施策について、今後力を入れていくべきか 等